

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S13	施策名	放課後児童健全育成事業の民間活用及び類似事業との整理
担当部課	子ども部子ども未来課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第2期 長久手市子ども・子育て支援事業計画
施策開始の背景、経緯等	放課後の居場所に関する事業については、利用ニーズが増加傾向かつ多様化しており、市が全てのニーズに直接対応することは困難になってきているため、民間資源や市民を活用した運営の取り入れを検討する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ・民間事業者を活用した放課後児童クラブの運営 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討 ・放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)及び利用者
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の居場所事業における民間事業者の活用及び事業統合

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	民間事業者を活用した放課後児童クラブの運営				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよ3年後)	長期(おおよ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		民間事業者の活用に向けた公募条件の検討、場所の選定、補助内容の検討、サウンディング調査	民間事業者の活用に向けた公募条件の検討、場所の選定、補助内容の検討、サウンディング調査	事業者公募・選定、開設準備(3カ所)	民間児童クラブの運営	民間児童クラブの運営
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		特になし	特になし	児童クラブ事業委託 未定	児童クラブ事業委託 未定	児童クラブ事業委託 未定
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化の検討				
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよ3年後)	長期(おおよ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		・学童保育所、保護者会以外の運営形態の検討に向け、投げかけを行った。	・放課後の居場所事業の統合に向け、具体的な事務に取りかかる。 ・学童保育所、保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しに向けた検討を行う。	・放課後の居場所事業の統合に向け、具体的な事務に取りかかる。 ・学童保育所、保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しに向けた検討を行う。	・放課後の居場所事業の統合に向けた事務を実施する。 ・学童保育所、保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しについて、方向性を決定。	・利用目的に沿った放課後の居場所事業を、各施設で実施する。 ・学童保育所、保護者会以外の運営形態の検討や運営費の見直しについて、方向性を決定。 ・学童保育所、保護者会の意向に沿った、学童保育所の運営を行っている。
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)
		児童クラブ事業委託 80,980千円	児童クラブ事業委託 84,363千円	児童クラブ事業委託 未定	児童クラブ事業委託 未定	児童クラブ事業委託 未定
		会計年度任用職員報酬 59,456千円	会計年度任用職員報酬 55,094千円	会計年度任用職員報酬 未定	会計年度任用職員報酬 未定	会計年度任用職員報酬 未定
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・民間児童クラブ開設に向けた公募条件を検討するため、近隣市町で実績のある事業者へヒアリングを実施しており、令和3年度も引き続き実施する。 ・放課後の児童の居場所事業については、児童クラブ9か所(うち1か所はR2年度中に開所)、学童保育4か所(うち2か所は分室運営)、放課後子ども教室4か所で開催している。 ・学童保育所保護者会との意見交換会において、今後の交換会にて、保護者会以外の運営形態の検討を話し合いたい旨の投げかけを行った。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 放課後の児童の居場所事業について、今後も放課後の預かり事業(児童クラブ、学童保育所)においては、市民ニーズが多様化していること、事業の実施場所や人材確保が困難であるため、現在の運営形態のままでは拡充が難しい。また、各事業の違いが分かりにくいことから、放課後子ども教室においては、本来の目的ではない利用者が一定数発生している。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 待機児童が発生する中で、児童数の増加が見込まれる小学校区や、共働きの増加も見込まれるなど、今後もニーズは増加傾向が続くと予測しているため、受入数の拡充が必要である。また、実施事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の違いが市民には分かりにくいという課題がある。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 民間事業者による放課後児童クラブの運営により、児童の居場所の確保を含めて新たなサービスが期待できる。また、放課後の居場所事業を統合することにより、市民に分かりやすくなる。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・待機児童対策のため、民間事業者を活用した放課後児童クラブの運営に向けた事務を進める。 ・学童保育所において、保護者会以外の運営形態の検討や児童クラブとの利用料の平準化について調整を行う。 ・まずは待機児童を解消し、その後、放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)の統合化を進める。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・今後の制度設計にあたっては、放課後の居場所事業(児童クラブ、学童保育、放課後子ども教室)全体での市負担も比較検討してください。 ・引き続き、放課後の児童の居場所の確保や運営方法の幅を広げられるよう取り組んでください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、整理などを行い、よりよい放課後の児童の居場所づくりに努めてください。
------	--------------------	---

内部意見への回答		
----------	--	--